# 学校生活と新型コロナウイルス感染症（事例集）

令和３年２月作成
愛媛県教育委員会　保健体育課

# 濃厚接触者の特定と検査

・新型コロナ陽性者と近距離又は長時間接触があった、感染の可能性が高い方のことを「濃厚接触者」という。
・濃厚接触者は、保健所が聞き取り調査の結果により特定し、ＰＣＲ検査を実施する。
※　学校においては、濃厚接触者に該当しない場合でも「接触者」として幅広に検査を行うことがある。
・結果が陰性であっても、陽性に転じる場合もあることから、陽性者との最終接触日の翌日から14日間は自宅待機となる。

# 濃厚接触者の定義

○　新型コロナ陽性者の感染可能期間(発症２日前以降)に接触した者のうち、次に該当するもの。
・陽性者と同居あるいは長時間の接触があった者　→　**家族はこれに該当**
・手で触れることのできる距離(目安として１ｍ）で、必要な感染予防策なしで陽性者と15分以上の接触があった者(周辺の環境や接触の状況等、個々の状況から陽性者の感染性を総合的に判断)　→　**「ノーマスクで15分」**
・その他(適切な感染防護なしに陽性者を看護、介護した者や、陽性者の気道分泌液もしくは体液等に直接触れた可能性が高い者)

# 学校における事例　～授業編①～

○　Ｘ高校１年１組の生徒Ａさん(女子)の**父の職場で同僚が陽性**となった。**父は濃厚接触者**となり、ＰＣＲ検査を受け、**陽性**。
○　家族である**Ａさんも濃厚接触者**となり、ＰＣＲ検査を受け、**陽性**。症状はない。
○　Ｘ高校１年１組と２組は合同で体育の授業を行っている。
○　保健所の聞き取りにより、Ｘ高校１年１組と２組の**女子は濃厚接触者に特定**された。
○　Ｘ高校１年１組と２組の男子は濃厚接触者にはならなかった。
○　濃厚接触者にＰＣＲ検査を行った結果は、**全員が陰性**だった。

**ポイント**

・**同居の家族**は、**濃厚接触者**となった。
・Ｘ高校１年１組と２組の女子はＡさんの陽性が確定する２日前に体育の授業があり、**更衣室が同じ**であったため、**濃厚接触者**となった。(**近距離、マスクなしでの会話あり、換気不十分**)
・Ｘ高校１年１組と２組の男子は濃厚接触者にならなかった。（普段の学校生活では、マスクの着用をはじめ、感染予防対策がとられていた）
・濃厚接触者に該当しなかった生徒(１組と２組の男子生徒）や、検査結果が陰性だった濃厚接触者の接触者(１組と２組の女子の友達、家族等)には、通常感染リスクはないと考えられる。
・濃厚接触者となったＸ高校１年１組と２組の女子は、検査結果が陰性であっても、陽性に転じることもあるから、最終接触後２週間の自宅待機（健康観察期間）が必要となる。

# 学校における事例　～授業編②～

○　Ｙ高校２年２組の生徒Ｂさんの祖母が入所している介護施設で**クラスターが発生**した。
○　クラスター発生２日前に、祖母の面会に行った母親は、**接触者として**ＰＣＲ検査を受け、**陽性**。
○　Ｂさんも**母親の濃厚接触者**となり、ＰＣＲ検査を受け、**陽性**。
○　音楽の授業でリコーダーのグループ練習を行っていた。
○　保健所の聞き取りにより、Ｙ高校２年２組の男子２名と女子２名が濃厚接触者に特定された。
○　その他の生徒は濃厚接触者に特定されなかった。
○　濃厚接触者にＰＣＲ検査を行った結果は、**全員が陰性**だった。

**ポイント**

・**同居の家族**は、**濃厚接触者**となった。
・Ｙ高校２年２組ではＢさんの陽性が確定する２日前に**音楽の授業でリコーダーのグループ練習**を行っていた。**同じグループ**であった、男子２名と女子２名の生徒は**濃厚接触者**となった。(**近距離、マスクなしでの会話あり**)
・その他の生徒は濃厚接触者にならなかった。（普段の学校生活では、マスクの着用をはじめ、感染予防対策がとられていた）
・濃厚接触者に該当しなかった生徒(別グループの生徒)や、検査結果が陰性だった濃厚接触者の接触者(同じグループの生徒の家族)には、通常感染リスクはないと考えられる。
・濃厚接触者となったＹ高校２年２組の男子２名と女子２名は、検査結果が陰性であっても、最終接触後２週間の自宅待機（健康観察期間)が必要となる。

# 学校における事例　～昼食編～

○　Ｚ高校３年３組の生徒Ａさんが、発熱のため、かかりつけ医を受診し、**抗原検査で陽性確定。**
○　Ａさんの父(会社員)、母(主婦)、弟(中学性)、祖父(無職)が**濃厚接触者に特定**された。
○　保健所の聞き取りにより、近くで食事をした友達のＢさんとＣさんが**濃厚接触者に特定**された。
○　ＢさんとＣさん以外のクラスの友達は濃厚接触者にはならなかった。
○　濃厚接触者にＰＣＲ検査を行った結果は、**全員が陰性**だった。

**ポイント**

・Ａさんの**同居の家族**は、**濃厚接触者**となった。
・**近くで食事**をした友達のＢさんとＣさんは**濃厚接触者**となった。(**近距離、マスクなしでの会話あり**)
・その他の友達は濃厚接触者にならなかった。（普段の学校生活では、マスクの着用をはじめ、感染予防対策がとられていた）
・濃厚接触者に該当しなかった生徒(感染予防対策ができていたＡさんのクラスの友達）や、検査結果が陰性だった濃厚接触者の接触者(父の会社の同僚、弟の中学校の友達等）には、通常感染リスクはないと考えられる。
・濃厚接触者となったＢさんとＣさんは、検査結果が陰性であっても、最終接触後２週間の自宅待機（健康観察期間)が必要となる。

# 学校における事例　～部活動編①～

○　Ｘ高校サッカー部が県外遠征で対戦したＹ高校サッカー部の監督が**試合後に体調不良のため病院を受診し、ＰＣＲ検査の結果、陽性。**

○　保健所の聞き取りにより、Ｙ高校のサッカー部キャプテンとＸ高校サッカー部監督は**濃厚接触者に特定**された。

○　その他のサッカー部員は濃厚接触者にはならなかった。

○　濃厚接触者にＰＣＲ検査を行った結果は、**全員が陰性**だった。

**ポイント**

・Ｙ高校サッカー部監督の**同居の家族**は、**濃厚接触者**となった。

・Ｙ高校のサッカー部キャプテンは、試合後クラブハウスで、**監督と1時間ほどミーティング**を行ったことから、**濃厚接触者**となった。(**クラブハウス換気不十分、近距離で長時間の会話**)

・Ｙ高校サッカー部監督と**会話しながら試合観戦**をしたＸ高校サッカー部監督も**濃厚接触者**となった。(**近距離で長時間の会話**)

・その他の選手は濃厚接触者にならなかった。（サッカー活動の再開に向けたガイドライン遵守：日本サッカー協会）

・濃厚接触者に該当しなかったＸ高校とＹ高校の選手や、検査結果が陰性だった濃厚接触者の接触者(Ｘ高校サッカー部監督の家族、Ｙ高校サッカー部キャプテンの家族等）には、通常感染リスクはないと考えられる。

・濃厚接触者となったＸ高校サッカー部監督とＹ高校サッカー部キャプテンは、検査結果が陰性であっても、最終接触後2週間の自宅待機（健康観察期間)が必要となる。

# 学校における事例　～部活動編②～

○　Ｚ高校の１年生野球部のＡさんが練習中に倒れる。救急搬送後、**ＰＣＲ検査の結果、陽性が確定。**
○　保健所の聞き取りにより、１年生野球部員は**全員濃厚接触者に特定**された。
○　２、３年生の野球部員は濃厚接触者にはならなかった。
○　濃厚接触者にＰＣＲ検査を行った結果は、**全員が陰性**だった。

**ポイント**

・Ａさんの**同居の家族**は**濃厚接触者**となった。
・陽性となったＡさんは、**前日から微熱**があったが、３日後に大切な試合が控えていることもあり、練習を休むことができなかった。(**本人及び学校の体調確認不足、家庭への体調管理に関する注意喚起不徹底**)
・**１年生**は練習終了後、**雨天練習場(室内)**で用具の手入れをするのが日課であった。練習の流れのまま、**マスクを着用していなかった**ため、**濃厚接触者**となった。(**近距離、マスクなしでの会話あり、換気不十分**)
・２、３年生の部員は濃厚接触者にならなかった。
・濃厚接触者に該当しなかった２、３年生や、検査結果が陰性だった濃厚接触者の接触者(１年生部員のクラスの友達や家族等）には、通常感染リスクはないと考えられる。
・濃厚接触者となった１年生部員は、検査結果が陰性であっても、最終接触後２週間の自宅待機（健康観察期間)が必要となる。（１年生は、３日後の試合に出場できない）

# 学校における事例　～部活動　番外編～

○　Ｘ高校バスケットボール部の保護者Ａさんが発熱のため、かかりつけ医を受診し、抗原検査の結果は陰性であったが、**医師の判断でＰＣＲ検査**を受けたところ、**陽性が確定。**

○　保健所の聞き取りにより、バスケットボール部の**保護者11名は濃厚接触者に特定**され、ＰＣＲ検査の結果は、**陽性**となった。

○　陽性となった保護者の子どもであるバスケットボール部員は**濃厚接触者**となった。

○　濃厚接触者となったバスケットボール部員にＰＣＲ検査を行った結果は、**全員が陰性**だった。

**ポイント**

・Ａさんの**同居の家族**は**濃厚接触者**となった。

・バスケットボール部の保護者は、２日前に行われた大会の応援に参加し、飲食のできる見学席で**食事をしていた**ため、**その場に同席した保護者は濃厚接触者**となった。ＰＣＲ検査の結果、**陽性。**（**近距離、マスクなしでの会話あり、換気不十分**）

・11名の保護者の**同居の家族**も**濃厚接触者**となった。(11名のバスケットボール部員含む)

・濃厚接触者に該当しなかった保護者や、検査結果が陰性だった濃厚接触者の接触者(11名以外のバスケットボール部員等）には、通常感染リスクはないと考えられる。

・陽性となった保護者11名は、**医師の判断**により、**入院若しくは宿泊療養施設（または自宅）**での2週間の療養が必要となる。

・濃厚接触者となった11名のバスケットボール部員は、検査結果が陰性であっても、最終接触後２週間の自宅待機（健康観察期間)が必要となる。

# 学校における事例　～校外生活編～

○　Ｘ高校の２年生Ａさんは、味覚障害があったため、かかりつけ医の紹介で**ＰＣＲ検査を受け、陽性が確定。**

○　保健所の聞き取りにより、Ｘ高校の２年生Ｂさんと Ｙ高校の２年生Ｃさんが**濃厚接触者に特定**され、ＰＣＲ検査の結果は、**陽性**だった。

○　Ａさん、Ｂさん、Ｃさんのクラスの友達は濃厚接触者にはならなかった。

**ポイント**

・Ａさんの**同居の家族**は、**濃厚接触者**となった。
・味覚障害が発症した２日前に、**カラオケボックス(飲食あり）**と、**ゲームセンターで遊んだ**友達のＢさんとＣさんも**濃厚接触者**となりＰＣＲ検査の結果、**陽性。**(**近距離、マスクなしでの会話あり、会食、換気不十分**)
・ＢさんとＣさんの**同居の家族**も**濃厚接触者**となった。
・Ａさん、Ｂさん、Ｃさんのクラスの友達は濃厚接触者にならなかった。（普段の学校生活では、マスクの着用をはじめ、感染予防対策がとられていた)
・濃厚接触者に該当しなかった生徒(感染予防対策ができていたＡさん、Ｂさん、Ｃさんのクラスの友達)には、通常感染リスクはないと考えられる。
・陽性となったＡさんは味覚障害もあり、**医師の判断により入院**、ＢさんとＣさんは**無症状**だったため、**宿泊療養施設（または自宅）**で２週間の療養が必要となる。

# 新型コロナウイルスと人権

○　新型コロナウイルス感染症に対する不安から、感染者やその接触者、医療従事者をはじめ社会生活を支える仕事に従事する人々やその家族など周りの人に対する差別が行われる事例があります。

○　**誤った情報に基づいた不当な差別、偏見、いじめ、ＳＮＳ等での誹謗中傷や根拠のない差別的な書き込みなどは、決して許されるものではありません**。

○　不確かな情報に惑わされたり、必要以上に恐れたりすることなく、一人ひとりがお互いを思いやり、冷静に行動することが必要です。

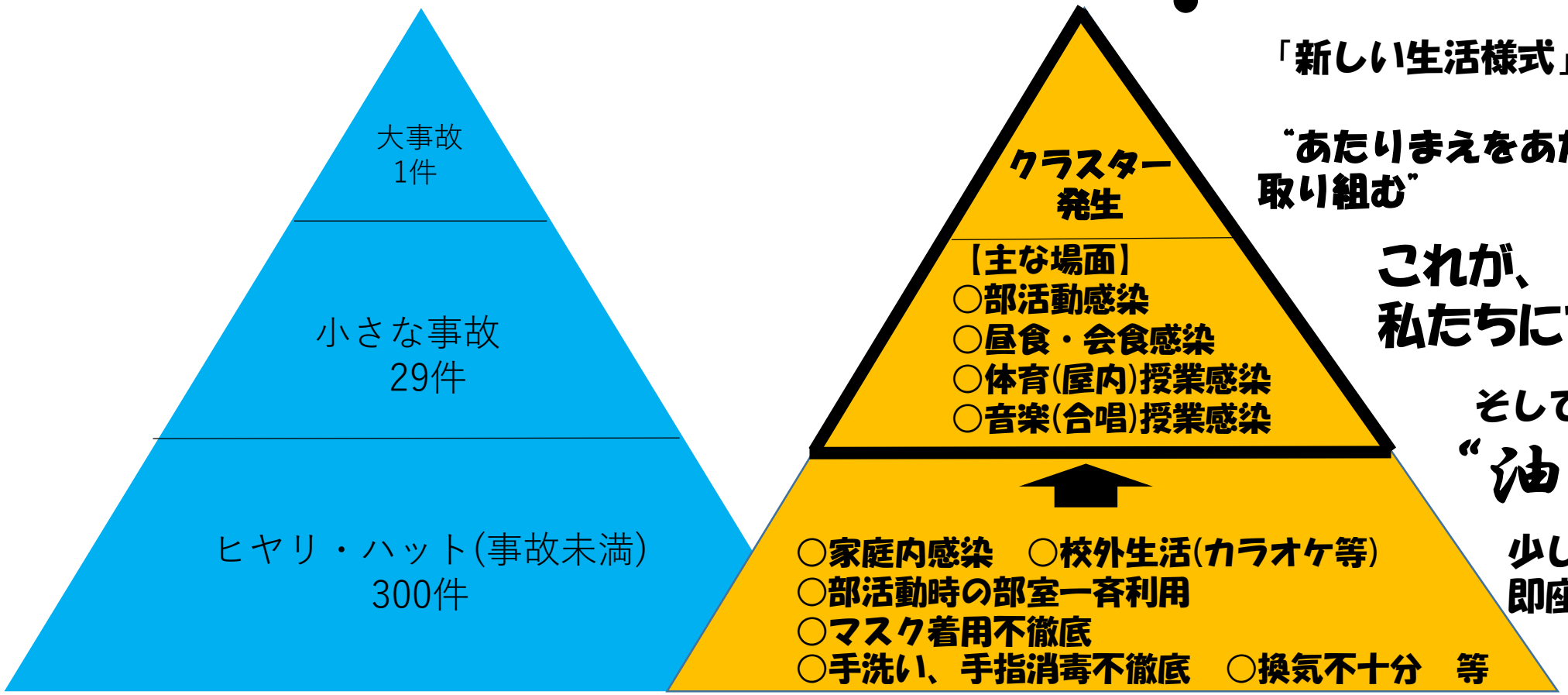
**ポイント**

・「検査結果が陰性だった濃厚接触者」の接触者(検査より前に接触していた方）には、**通常感染リスクはありません。**
・濃厚接触者は検査後、自宅待機となるため、感染が広がる恐れはありません。
・「濃厚接触者(陰性)の家族が、学校等へ通園や通学を拒否される事例」があったとすれば、それは誤った知識に基づくもので、適切な対応ではありません。
・いたずらに不安をあおることなく、**「確かな情報」を理解**し、広めましょう。
・差別的な言動に同調しないようにしましょう。
・退院者や濃厚接触者ではない人など、通常通りの生活を送って差し支えない人の登校や施設利用について、行き過ぎた不安による差別が生じないように注意しましょう。
・医療従事者など、新型コロナウイルスに立ち向かう全ての人に、敬意を払いましょう。
・新型コロナウイルス感染症は、**いつ自分が当事者になるかわからない**感染症です。**他人を攻撃するのではなく、正しい知識を持って、正しく恐れ、正しく対策をしましょう**。

参考

# 学校生活と新型コロナウイルス感染症

ハインリッヒの法則




感染症対策は　“凡事徹底”

「新しい生活様式」＝ あたりまえ

“あたりまえをあたりまえに徹底して取り組む”

**これが、**
**私たちにできること！**

そして
“油断大敵”

少しの油断や気のゆるみが、即座に感染拡大に繋がる！

1件の大きな事故の裏には、29件の小さな事故、そして300件のヒヤリ・ハット(事故に至らなかったもののヒヤリとした、ハッとした事例）があるとされる。この経験則をハインリッヒの法則という。